

## 陸前高田市まちづくり総合計画 基本政策の指標に係る目標設定の考え方について(教育民生)

基本政策	指標名	現状値 (平成29年度)	目標値		目標設定の考え方
			5年後 (平成35年度)	10年後 (平成40年度)	
4 地域の伝統や文化を大切にする	地域の伝統や文化の保護・活用に満足している人の割合	56.7%	70.0%	80.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で80%になることを目指す
	市民芸術祭参加者数	1,881人	1,900人	1,900人	人口減少が見込まれる中、参加者数の現状維持を目標とする
	文化財報告会及び展示会参加者数	323人	330人	330人	人口減少が見込まれる中、参加者数の現状維持を目標とする
	教育普及事業(出前講座、博物館教室、中沢浜貝塚関連事業)参加者数	305人	310人	310人	人口減少が見込まれる中、参加者数の現状維持を目標とする
5 生涯学習を推進する	生涯学習の推進に満足している人の割合	69.7%	75.0%	80.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で80%になることを目指す
	出前講座、自主企画講座支援事業、公民館講座、大学との連携事業の年間総参加者数	6,030人	6,100人	6,100人	人口減少が見込まれる中、参加者数の現状維持を目標とする
10 自然環境の保全に努める	自然環境の保全に満足している人の割合	68.4%	75.0%	80.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で80%になることを目指す
	川・海的环境基準	基準維持	基準維持	基準維持	既に環境基準を満たしているため現状維持を目指す
	環境教育・出前講座の開催回数	0回	2回	5回	震災前の約30%の水準を目指す
11 ごみの減量と資源の活用を図る	ごみの減量と資源の活用に満足している人の割合	58.2%	70.0%	80.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で80%になることを目指す
	市民1人1日当たりのごみ排出量	619g	610g	600g	現状から約3%の減少を目指す
	新エネルギー利用促進助成件数	40件	40件	40件	現状維持を目指す
12 安心して子どもを産み育てられる環境を整える	子どもを産み育てる環境に満足している人の割合	41.2%	60.0%	80.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で80%になることを目指す
	年間出生数	99人(H28)	100人	100人	人口減少が見込まれる中、現状維持を目標とする
	子育て応援対象者への商品券の給付率	96.6%	97.0%	97.5%	ほぼ給付している現状から、0.5%ずつの増加を目指す
	各種集団健康診査の受診率	98.6%	100%	100%	法律において健康診査を実施することが定められている
13 一人ひとりを大切にした学校教育を推進する	一人ひとりを大切にした学校教育の推進に満足している人の割合	62.2%	70.0%	80.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で80%になることを目指す
	「こころからだの健康観察」における要サポート児童生徒の割合	小:12.9% 中:11.2%	小:10.9% 中:9.2%	小:8.9% 中:7.2%	現状から4%の減少を目指す
	学校不適応児童生徒出現率	小:0.13% 中:2.65%	小:0% 中:2.35%	小:0% 中:2.00%	現状においても全国の水準を下回っているが、更なる減少を目指すし、小学校は不適応0を目標とする
	いじめ解消率	80%	90%	100%	いじめの根絶を目指す
14 子どもたちに知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」を育成する	子どもたちの知・徳・体のバランスのとれた「生きる力」の育成に満足している人の割合	70.4%	75.0%	80.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で80%になることを目指す
	学習定着度状況調査における「授業の内容がわかる」と答えた児童生徒の割合	小:92.1% 中:77.2%	小:93.1% 中:78.2%	小:94.1% 中:79.2%	現状においても県の水準を上回っているが、更なる向上を目指す
	「人の気持ちがわかる人間になりたい」と思っている児童生徒の割合	小:66.0% 中:80.0%	小:68.0% 中:82.0%	小:70.0% 中:84.0%	現状においても県の水準を上回っているが、更なる向上を目指す
	体力・運動能力調査の総合評価全5段階のうちA・B・C段階の児童生徒の割合	小:76.0% 中:82.7%	小:78.0% 中:83.7%	小:80.0% 中:84.7%	現状においても県の水準を上回っているが、更なる向上を目指す

基本政策	指標名	現状値 (平成29年度)	目標値		目標設定の考え方
			5年後 (平成35年度)	10年後 (平成40年度)	
15 家庭や地域の教育力を高める	家庭や地域の教育力に満足している人の割合	69.9%	75.0%	80.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で80%になることを目指す
	乳幼児学級、家庭教育学級の年間参加者数	1,934人	1,940人	1,940人	人口減少が見込まれる中、参加者数の現状維持を目標とする
	学校支援地域本部の設置数(延べ数)	9か所	10か所	10か所	市内の全ての小学校及び中学校単位での設置を目指す
	学校支援ボランティアの登録者数(延べ人数)	100人	110人	110人	学校支援地域本部の設置数増加に合わせて、1割程度の増加を目指す
	たかた子どもキャンパスの年間参加者数	212人	220人	220人	人口減少が見込まれる中、参加者数の現状維持を目標とする
16 安全・安心な学校教育環境を整える	学校教育環境に満足している人の割合	66.0%	70.0%	80.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で80%になることを目指す
	通学路安全点検危険箇所改善率	35%	40%	45%	現状から10%増を目指す
	学校教育計画の中に防災教育を位置づけ、実践に取り組んでいる小中学校の割合	100%	100%	100%	現状を維持し、防災教育の継続を目指す
17 共生のまちづくりを推進する	共生のまちづくりの推進に満足している人の割合	45.6%	60.0%	80.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で80%になることを目指す また、被災者健康診査における「人とのつながり」についても参考とする
	再建した店舗のうちユニバーサルデザイン認証を受けた店舗の割合	0%	50%	70%	10年後に70%達成を目指す
	福祉的就労者数	114人	130人	150人	施設利用者の一般就労への推進により福祉的就労者数は減少するが、現在実績(年3名程度)と同様の利用者増を目指す
	保育所児童が高齢者や障がい者の施設を訪問する回数	5回	7回	9回	保育所児童が高齢者や障がい者の施設との交流を重ねながら回数を増やす
	介護予防教室の年間参加延べ人数	3,715人	4,000人	4,300人	今後増加が見込まれる高齢人口の約50%を目標とする
18 市民の健康づくりを推進する	市民の健康づくりの推進に満足している人の割合	80.2%	85.0%	90.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で80%になることを目指す
	はまかだスポット数	314箇所	350箇所	400箇所	現状から年間10箇所の増加を目標とする
	65歳以上の要介護(要支援含む)の認定者の割合	19.4%	19.4%	19.4%	高齢化率の上昇が見込まれる中、要介護認定者率について現状維持を目指す
	チャレンジデー参加率	76.1%	75.0%	75.0%	震災後の過去5年間の平均(73.7%)以上の参加率の維持を目標とする
	スポーツ教室等参加者数(延べ人数)	56人	600人	700人	平成30年度に総合交流センターを供用開始し、スポーツ教室の開設を拡充したことから、平成30年度の見込み(495人)の20%増を目標とする
19 安心できる医療・介護・福祉体制を整える	医療・介護・福祉体制に満足している人の割合	48.1%	60.0%	80.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で80%になることを目指す
	在宅医療介護連携センター「みんなの相談室」相談件数	1,259件	1,300件	1,400件	今後増加が見込まれる高齢人口の約15%を目標とする
	未来かなえネット登録者数	3,333人	3,800人	4,300人	現状から年間100人の増加を目標とする
20 仕事と生活の調和を図る	仕事と生活の調和の推進に満足している人の割合	42.7%	60.0%	80.0%	市民満足度調査において「満足している」又は「やや満足している」と答えた市民の割合が10年後の計画最終年度で80%になることを目指す
	仕事と生活の調和に関する講演会等参加者数	0人	100人	150人	毎年10人の増加を目指す
	各種審議会等における女性委員の登用率	17.7%	20.0%	25.0%	10年後に全委員の4分の1が女性委員となることを目指す